

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公表番号】特表2012-521351(P2012-521351A)

【公表日】平成24年9月13日 (2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2012-500982(P2012-500982)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/215 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/215

A 6 1 P 31/10

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/08

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/06

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月18日 (2012.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

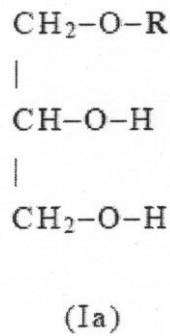
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 I a :

【化 1】

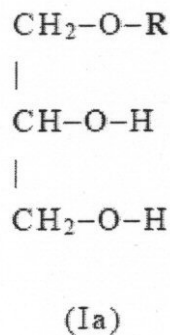


(式中、Rは、 $-\text{C}(\text{O})-\text{C}_9\text{H}_{19}$ である直鎖アシル基である)によって表されるグリセロールの脂肪酸モノエステルを含む、患者の *Trichophyton rubrum* により引き起こされる真菌性状態の局所的治療または予防に使用するための医薬組成物。

【請求項 2】

一般式 Ia :

【化 2】



(式中、Rは、 $-\text{C}(\text{O})-\text{C}_9\text{H}_{19}$ である直鎖アシル基である)によって表されるグリセロールの脂肪酸モノエステル、およびその薬学的に許容され得る担体または賦形剤、および任意で第2の医薬活性剤を含む、患者の *Trichophyton rubrum* により引き起こされる真菌性状態の局所的治療または予防に使用するための医薬組成物。

【請求項 3】

前記グリセロールの脂肪酸モノエステルが、0.1重量% ~ 20重量%の量で存在する、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項 4】

前記グリセロールの脂肪酸モノエステルが、1重量% ~ 10重量%の量で存在する、請求項1 ~ 3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、ネイルラッカー、エナメル、塗料、溶液、ローション、クリーム、ゲル、エアロゾル泡、およびエアロゾルスプレーからなる群から選択される局所投与剤形である、請求項1 ~ 4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、ネイルラッカーである、請求項5に記載の組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、ネイルラッカーであり、少なくとも1つの揮発性溶媒およびフィルム形成成分をさらに含む、請求項5または6に記載の組成物。

【請求項 8】

前記少なくとも1つの揮発性溶媒が、エタノール、プロピルアルコール、イソプロピルアルコール、n-ブチルアルコール、t-ブチルアルコール、ブトキシエタノール、アセトン、酢酸エチル、および酢酸ブチルからなる群から選択される、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

前記少なくとも1つの揮発性溶媒が、イソプロピルアルコールおよびエタノールの混合物である、請求項7または8に記載の組成物。

【請求項10】

前記少なくとも1つの揮発性溶媒が、酢酸エチルおよびエタノールの混合物である、請求項7または8に記載の組成物。

【請求項11】

前記フィルム形成成分が、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ポリビニルピロリドン、カルボマー、PVM/MAデカジエンクロスポリマー、ヒドロキシプロピルグアー、オクチルアクリルアミドアクリレートコポリマー、アミノアルキルメタクリレートコポリマー、アンモニオメタクリレートコポリマー、PVP/VAコポリマー、PVA、PVM/MAコポリマーのC₂-C₄アルキルエステル、シェラック、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項7～10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項12】

前記フィルム形成成分が、PVM/MAコポリマーのブチルエステルである、請求項7～11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】

前記組成物が、エアロゾル泡である、請求項5に記載の組成物。

【請求項14】

前記組成物が、エアロゾル泡であり、水、界面活性剤成分、および噴霧剤をさらに含む、請求項13に記載の組成物。

【請求項15】

前記水が、80重量%～96重量%の量で存在する、請求項14に記載の組成物。

【請求項16】

前記水が、90重量%～95重量%の量で存在する、請求項14または15に記載の組成物。

【請求項17】

前記界面活性剤成分が、親水性界面活性剤を含み、親油性界面活性剤を含まないまたは実質的に含まない、請求項14～16のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項18】

前記親水性界面活性剤が、非イオン性親水性界面活性剤である、請求項17に記載の組成物。

【請求項19】

前記界面活性剤成分が、0.1重量%～10重量%の量で存在する、請求項14～18のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項20】

前記界面活性剤成分が、0.25重量%～2重量%の量で存在する、請求項14～19のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項21】

前記噴霧剤が、炭化水素、クロロフルオロカーボン、ジメチルエーテル、ハイドロフルオロカーボン、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項14～20のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項22】

前記噴霧剤が、炭化水素の混合物である、請求項14～21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 3】

前記噴霧剤が、5 重量 % ~ 10 重量 %の量で存在する、請求項 1 4 ~ 2 2 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 4】

前記組成物が、pH調整剤、湿潤剤、フィルム増量剤、キレート剤、酸化防止剤、保存剤、可塑剤、浸透促進剤、芳香剤、着色剤、界面活性剤、皮膚軟化剤、ゲル化剤、およびラジカル捕捉剤からなる群から選択される1つまたは複数の添加剤をさらに含む、請求項 1 ~ 2 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 5】

前記真菌性状態が、足白癬、股部白癬、皮膚糸状菌症、および爪真菌症からなる群から選択される、請求項 1 ~ 2 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 6】

前記真菌性状態が、爪真菌症である、請求項 2 5 に記載の組成物。